

## 電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	教育実習事前事後指導		
英文授業科目名			
開講年度	2005年度	開講年次	4年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法		単位数	
科目区分	教職科目-教育実習-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	小林 基宏		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>(a) 主題：                      中学校、高等学校の教育現場で「教育実習」を実践するための、事前の心得全般を学習し、実践後の総括を実施する。</p> <p>(b) 達成目標：                      教職課程の各教科で学習し身につけた、知識、能力、スキルなどを集約し、具体的に実践するためのノウハウの取得とイメージづくりを目指す。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
教職免許取得のために必要な履修科目を、あらかじめ履修しておくことが原則。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
教員養成のための履修科目であることの意義を十分に踏まえて、単なる資格取得ではない「教員志願」の気持ちを真摯に整え、学習を同じくする者と協調しながら「自らが目指す教師像」を創造する態度で臨むこと。

<b>【教科書等】</b>
教科書：とくになし。授業で必要な資料を配布。 参考書：教育実習に関する多くの書籍があるので、各自、図書館等を利用すること。 なお、別途、教務課からの案内があるので注意する。

【授業内容とその進め方】

授業内容と授業の進め方に関しては、年度による教育実習実施期間の状況に対応して流動的となるが、原則的には、次の段階で進められる。

- 1.教育工学的、形態的心理学的考察のもと、学習指導法の集約。
- 2.教科指導上の教案作成、実習日誌作成など各種ノウハウの学習。
- 3.生徒指導に関する法律的考察。
- 4.学校管理運営上の組織的考察。
- 5.教育実習中の自己健康管理法。
- 7.教員採用試験対策ガイダンス。

などに関して、教育実習期間の前に6回、後に3回の合計9回を目処に実施する。

当然のこと、教育実習現場が、各自、中学あるいは高校、と異なったり、教科も各種にわたるところから、その分野に関して、自分で参考書を調べたりする必要がある。そのために、授業以外に教案作成の演習および課題が課せられることもある。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

教員養成の観点から、資質の涵養とともにその達成努力が問われることになる。

- 1.実際の教育現場に臨むための教科学習であることから、授業全回出席が原則。
- 2.試験は実施しないが、教育実習中の実習日誌の記述内容と、実習先の担当責任者および学校長評価を以って達成度を評価する。
- 3.授業態度、課題の提出状況、内容等、教師としての資質と将来性を評価する。  
などが評価の目処となる。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じます。教務課を通じて電話などで事前にアポイントメントを取ること。

【学生へのメッセージ】

将来的に「未知のもの、新しいことに生徒が興味を持つように導くのが教師の使命」、を充分に実践できるように、「学習者支援」のための知識、能力、スキルなどを授業を通じてしっかり考察し理解していけば、難しい内容ではない。

【その他】